

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 月1/ 火1 / 水2 /水4	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 I German I		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) 月1:E8-10,火1:La-c,水2:F27-28, 水4:P19	科目分類 外国語科目(ドイツ語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: ファーデン・ゲアハルト / Eメールアドレス: g-faden@net.nagasaki-u.ac.jp / 研究室: 環境科学部一階 オフィスアワー: 講義の前後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい:</p> <p>初めてドイツ語を習う学生が、言葉だけでなく、ドイツの社会・生活・文化などにも触れることができるよう配慮します。ドイツ語の学習が契機となって、学生がドイツ語のみならず、ドイツ語圏文化に興味を抱いてくれることを期待しています。</p> <p>授業方法(学習指導法):</p> <p>ドイツ語の ABC から始まり、文法の順を追って次第に程度を高めながら、ドイツ語の基礎を学習します。練習問題を通じて文法の基礎を身につけます。ビデオと映画も利用します。</p> <p>授業到達目標:</p> <p>聞く、話す、読む、書くという基本能力がバランスよく見につくようにします。文法はドイツ語検定試験4級の範囲に限定しています。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>基礎文法事項と簡単な会話。</p> <p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回～第3回 ドイツの歴史と文化/ドイツと日本の関係について</p> <p>第4回 ドイツの現代/ドイツの観光地について</p> <p>第5回～第6回 ドイツ語の発音の基本。挨拶の表現/ドイツの味わいと祭りについて</p> <p>第7回 文の形・基数。自己紹介の練習/ドイツの教育と大学制度について</p> <p>第8回～第9回 冠詞と名詞/ドイツの政治制度について</p> <p>第10回～第11回 動詞の変化/ドイツの経済について</p> <p>第12回 人称代名詞/ドイツの環境問題について</p> <p>第13回 前置詞/ドイツの将来について</p> <p>第14回 まとめ</p> <p>第15回 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	新ドイツ語コミュニケーション(独検4級対応) 三修社		
成績評価の方法・基準等	定期試験 (80%)、授業への積極的な参加状況、授業に対する態度 (20%)等を総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			